



筑紫野市在住 | さんの住まい

建築士のママがつくるのは 小さくて美しい家

「いつか自分で設計した家建てたい」
それが昔からの夢だったと語る糸山葵さん。
これまで多くの施主の相談に乗り、
図面を描いてきた建築士が建てたのは
どんな家なのか、レポートします。



上：外観とは裏腹に、玄関ポーチはタイルとロートアイアン風のドア飾りがアンティーク風。左：真・白の漆喰壁に小さな窓が1か所だけ。隣家の視線を避けて、正面に窓のない家はまるで蔵のよう

アンティーク好きの建築士が
こだわりの家を作る一歩始終
今回ご紹介するのは「ハウズラン
ド社」の建築士、イレクター・糸山
葵さんの住まい。大学卒業後にハ
ウスメーカーで営業を経験した後、
2017年に古民家リノベーション
を得意とする同社に入社し、住宅
の設計だけでなく、家具や建具と
いったインテリアの造作にいたる
まで、住まいのトータルプラン

グを得意とする彼女が、ついに家
を建てることになった。協力会社
の紹介で、最寄り駅までのアクセ
スも便利な、見晴らしのよい高台
の一角に土地を購入。前々から夫
婦で「掃除が大変だから、小さい
家にしよう。その代わり、素材や
性能がよいものを使って、こだわ
って建てよう」と話していたとい
う葵さん。家族や自分の時間を楽し
く豊かなものにするために、建築
士としての経験を延床面積計算の
マイホームにつきまわらせた。

土地を決めた後、一枚板のパープル
ハートのタイングテーブルの購
入。住まいのキーアイテムを中心
に、間取りやデザインをプラン
ニングするためだ。パープルハート
は紫色の材面が特徴の熱帯産の樹
木。私は紫色が好きなので、インテ
リアショップで見た時から、家を新
築するならこの木のテーブルを置
こうと決めていたんです。

エイジング加工を施したカドー
パインのフローリングや、重厚感の
あるテーブルやキッチンなどの相性
を考えながら、キッチンの背面カ
ウンターは自らデザイン。アカン
ア（天板）とタモを組み合わせ、ア
ンティーク感を出すために引き出し
の取っ手は真鍮にしました。バック
パネルのモザイクタイルは紫色を中
心に4色を組み合わせてコーディネート。
ワインが好きなので、ガラス
をコレクションしなくて、専用のコ
レクションケースもつくりました。

favorite!
わが家のここが
お気に入り!

【キッチン&ダイニング】
エイジング加工を施したポルトーパイン
と造作家具が織りなすアンティークな
空間。一枚板のパープルハートのタイ
ングテーブルが重やかさを添えている